

## 令和3年度WAM助成事業

# フードバンクシステムによる 熊本県内子ども食堂への総合サポート 実施報告書



一般社団法人熊本県こども食堂ネットワーク





本書は

令和3年度 WAM 助成事業

「フードバンクシステムによる熊本県内子ども食堂への総合サポート」

の実施報告用冊子として制作されました。

同事業の 6 つの柱立て

柱立て 1: 「会員子ども食堂向けフードバンクシステム構築」

柱立て 2: 月 1 回開催の定例会の中での「地域の居場所づくりセミナー」開催

柱立て 3: 新規子ども食堂開設サポート事業

柱立て 4: 事業の周知のためのホームページ作成と保守・更新

柱立て 5: 外部専門家による事業モニタリング

柱立て 6: 報告書作成

について、実施概要、実施の様子を当時の写真とともにご紹介します。



# 柱立て 1：会員子ども食堂向けフードバンクシステム構築



## ■目的

新型コロナウイルス感染症の影響で子ども食堂運営に係る負担が重くなっていることを鑑み、会員子ども食堂の食材支援としてフードバンクシステムの構築を行う。また本事業をきっかけとして県内地域の企業・団体・個人との協力体制構築につなげることも目的とする。

## ■内容

- ・県内の企業を周り、食品ロスによる食材の定期的な提供に合意を得るとともに、会員子ども食堂に対し、LINEにより食材提供情報を即座に伝え、分配する仕組みを作る
- ・企業・農家・個人からのフードドライブによる寄付食材受付、食材収集
- ・提供を受けた食材の仕分け、会員食堂への情報やりとり、物資の配達指示、在庫管理、広報など

## ■実施期間

2021年4月を準備期間とし、同5月～2022年4月までを稼働期間とした

## ■実施予算 1,064,000円

- ・棚購入 食材一時保管用棚アイリスオーヤマメタルラック購入費 16,000円×4 =64,000円
- ・フードバンク事業スタッフ人件費（アルバイト）  
実働15日/月×5時間/1日×11ヶ月×1人×1,000円/h =825,000円（アルバイト雇用は5月-3月）
- ・県内企業周りや食材収集のためのガソリン代 10000円×12ヶ月=120,000円
- ・県内のスーパーにフードドライブ事業を説明する資料の作成・印刷  
A4,15ページ,カラー,50部 15,000円
- ・県内のスーパーにフードドライブ事業を説明する資料の送付 200円×50店舗=10,000円
- ・防疫用消毒液と拠点入室時の検温用体温計購入 30,000円



## ■実施の様子



県内の多数の企業から食材が提供され、各地域の会員子ども食堂にて配布、提供が行われた。生鮮食品等については消費期限の問題から、迅速な配布が求められ、提供元—フードバンク間、ならびにフードバンク—各子ども食堂間、各子ども食堂—利用者間でのスムーズかつ迅速な情報伝達が必須であることを再認識させられた。今後は情報発信の体制・システムの強化を念頭に、より効率的な運用方法を模索することが課題となる。

A screenshot of a Japanese web browser displaying a donation page. The page has a header with various icons and a search bar. The main content area features a large image of two people wearing face masks. To the left of the image is a text box with Japanese text. To the right is a sidebar with categories and links related to donations and food banks. At the bottom, there are navigation buttons and a status bar indicating the browser version.

本事業にて企業・団体・個人から食材を提供いただいた報告を当ネットワーク公式ホームページおよびSNSにて発信。賛同者・協力者による拡散が相乗効果を生み、食材の提供についてより多数の問合せを受けるきっかけのひとつとなった。



提供を受けた食材の保管は、原則として当ネットワークの拠点（熊本市東区桜木）にて行った。保管用什器として本助成にて購入したメタルラックを使用。食材の収集は当ネットワーク役員・会員による企業回りのほか、拠点まで持参いただくなケースもあった。防疫用消毒液と検温用体温計も本助成で購入し、拠点入室時に使用した。

### 申請事業の概要・活動

#### ◆柱立て1：会員子ども食堂向けフードバンクシステム（フードドライブ）構築

- ・熊本トヨタ自動車様 5/30, 6/6, 6/13, 6/20, 7/28, 9/30
- ・早稲田スクール様 7/27, 8/12, 8/16, 8/27, 9/3
- ・安田生命様 8/4
- ・8月からファミリーマート様フードドライブスタート
- ・本日、岩下兄弟フードドライブ贈呈式
- ・お菓子の香梅・重光産業・大豊食品・イケダ食品



#### ◆柱立て2：月1回開催の定例会の中での「地域の居場所づくりセミナー」開催

実施回数 9月末までで、5回実施

##### ・5/17 会員定例会講師：

- 一般社団法人エンドオブ・ライフケア協会認定講師、野添 涼様
- ・6/26 会員定例会（料理教室）講師：ママトコキッキン様
- ・7/19 会員定例会講師：合同会社友救CEO 松岡亮太さん
- ・8/28 会員定例会講師：管理栄養士 白土真澄さん
- ・9/27 会員定例会講師：社会福祉士 当法人理事 豊田謙二さん



県内のスーパー等には本フードドライブ事業に関する資料の送付、ならびに訪問、遠隔による事業説明と協力依頼を行った。県内多くの企業から協力を得ることに成功し、今後のより安定した運営、更なる発展への基盤になり得ると感じられた。



## ■総括

本項にて報告した 柱立て 1:「会員子ども食堂向けフードバンクシステム構築」は、今回の助成事業の中心的位置づけであった。

県内各地域の企業や店舗はもとより、行政、各種団体、個人と幅広いメンバーを巻き込んで実施された今回の取り組みは非常に反響が大きく、インターネット上、SNS 上での拡散も相まって多くの方々への認知がなされたと感じている。

その反響の大きさから、提供いただいた食材・食品の管理・運搬・再配布などの各シーンにおいて、当ネットワークのキャパシティを超える場面も見られた。

情報伝達のツール選び、食材受け入れ、運搬、配布に係る体制の見直しなど、課題も多く見えてきたため、助成期間中より改善のための論議を行い、最適な手段の模索を続けている。

今後も提供先—ネットワーク間、ネットワーク—会員（各子ども食堂）間、各子ども食堂—利用者間とそれぞれのつながりを密にしつつ、より時代に即した運営体制を構築したい。

本事業で得たものはソフト面、ハード面を問わず非常に多いが、中でも最大のものは協力・提供を申し出てくれた各企業、団体、個人との絆であると言える。食材を受け取る際にも、寄付を頂く際にも、非常に温かい言葉をいただき、運営一同、大変励みとなった。

同時に、今後この事業を継続していくための基盤として心強く感じるとともに、この信頼に真摯に応えていく重要性を再確認した。

### ■最終実施費用 942,033 円

- ・棚食材一時保管用具 メタルラック2台、ラック3台、押し入れ棚4個 63,768円
- ・フードバンク事業スタッフ人件費（アルバイト・パート） 809,705円  
※1名をパートタイムにて9カ月雇用
- ・県内企業周りや食材収集のためのガソリン代 39,100円
- ・防疫用消毒液と拠点入室時の検温用体温計購入 3台購入 29,460円

# 柱立て2：「地域の居場所づくりセミナー」開催



## ■目的

子ども食堂運営者や居場所作りを行っている個人や団体、これから子ども食堂の開設を希望する方を対象に、「地域や子どもや保護者との関係性構築」「調理・衛生について」、「資金調達について」など各テーマの専門家を講師として招き、運営について欠かすことのできない知識を学ぶためのセミナーを実施する。

## ■内容

- 1回目 折れない心を育てる いのちの授業
- 2回目 ミートパテを使った料理教室
- 3回目 子どもたちを育む食と子ども・地域食堂
- 4回目 コロナ時代の子ども食堂
- 5回目 お鍋を使ったクリスマスパーティー料理教室
- 6回目 Amazon ほしいもののリスト活用

## ■実施期間

5月17日、6月26日、8月16日、9月27日、3月27日（全5回 ※申請時の予定）

※毎月1回開催している会員定例会の中で実施 ※料理教室をのぞきオンライン開催

※実施時は12月5日（料理教室2回目）が追加となり、全6回となった

## ■実施予算 91,120円

- ・専門家派遣謝金 15000円×4回=60,000円
- ・Zoom 契約料 19200円×1.1=21,120円
- ・料理教室食材費 10000円×1回=10,000円



## ■実施の様子

### ●第1回 「折れない心を育てる いのちの授業」

開催：5/17 20:00～21:00

講師：一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

認定講師 野添 涼 様

会場：オンライン開催

参加者：16名



自分を認め大切に思う気持ちを育むことを通して、相手をそのまま受け入れ、大切にする気持ちも育む「折れない心を育てる いのちの授業」。この授業を通して、解決困難な苦しみを抱えたときに、具体的な行動として何ができるか、それぞれの立場で感じ考えた。

### ●第2回 「ミートパテを使った料理教室」

開催：6/26 13:30～15:00

講師：ママトコキッチン 佐藤 大地 様

会場：ママトコキッチン（菊池市七城町）

参加者：5名



「女性の視点・母親の視点」で、地元熊本の新鮮なお肉を使った美味しい安全なものづくりを目指す「ママトコキッチン」スタッフを講師に迎え料理教室を開催。材料や使いやすさにこだわって作られたミートパテを、様々な料理に活用できるよう、チヂミ、ホットサンド、カルボナーラ、ジャガイモのそぼろ炒めをメニューに応用レシピの料理教室を開催した。



## ●第3回 「子どもたちを育む食と子ども・地域食堂」

開催：8/16 20:00～21:00

講師：管理栄養士 白土 真澄 様

会場：オンライン開催

参加者：9名



幼児期の身体特徴から、栄養学や生活習慣に関する留意点について学習。『孤食・個食・子食・小食・粉食・濃食・固食』の避けるべき七つの「こ食」について、食材・食品を選ぶ場合の原材料や食品添加物に関する注意点など、「子どもの身体と心を育む」という子ども食堂の社会的役割を振り返り、子ども達へ安心安全な食事を提供するためのポイント等を学んだ。

## ●第4回 「コロナ時代の子ども食堂」

開催：9/27 20:00～21:30

講師：社会福祉士 元熊本学園大学教授 豊田 謙二  
(当法人理事)

会場：オンライン開催

参加者：25名



ドイツの子ども食堂の例も引用しながら、子どもにとって“遊び”が大変重要であることや、弁当配食の形式をとっている食堂では「共食」が大事であることなど、時にはユーモアを交えながら貴重なエピソードが語られた。沢山の質問に回答やアドバイスを受けて納得する参加者も多く、有意義な1時間半となった。



## ●第5回「お鍋を使ったクリスマスパーティー料理」



開催：12/5 10:30～13:00

講師：株式会社インコアグループ 担当者様

会場：熊本県子ども食堂ネットワーク拠点（熊本市東区桜木）

参加者：大人8名、子ども4名



2回目の料理教室は桜木の拠点にて実施。当ネットワークに寄付いただいた株式会社インコアグループの鍋を使用し、パエリア、クリームシチュー、だて巻き、チーズケーキなどのクリスマスに使えるパーティー料理を提案。鍋の良さを活かした時短で栄養を逃がさない調理法、鍋の特徴を踏まえたレシピなども教授・提供いただきました。拠点での開催のため、小さなお子さん連れての参加も可能となり、乳幼児を連れて参加する会員も多数あった。



## ●第6回 「Amazon ほしいものリスト活用」



開催：3／27 20:00～21:00

講師：あまりんぐ 酒田 拓也 様

会場：熊本県子ども食堂ネットワーク拠点（熊本市東区桜木）

参加者：10名



大手通販サイト Amazon の機能のひとつである「ほしいものリスト」において、子ども食堂に向けた食材支援の取り組みとその活用法を学習。参加者は各々の地域にて子ども食堂の運営を担う立場にあるため、今まで知らなかった活用法に対し非常に興味深く学ぶことができた。



## ■総括

熊本県下での新型コロナウィルス感染症の感染拡大に伴い、申請時の予定を大幅に変更しての実施となった。

子ども食堂の運営者対象ということで、やはりニーズの高い料理教室を2回実施したほか、3月に追加された第6回の講座「Amazonほしいもののリスト」も非常に反響の高いものだった。

同時に、技術・知識についての講座のみでなく、第1回、第3回、第4回のように「考え方」「受け止め方」「感じ方」といった“心の在り様”に触れる講座の必要性も強く感じられた。

当ネットワークに加入・参画するにあたり、「システムの共同利用」「ノウハウの共有」はもちろんメリットとして挙げられる。

だが、そういった点だけではなく、「社会に貢献する」「子ども達の健やかな成長に寄与する」といった“マインドの共有”も、当ネットワークが提供すべき役割だと強く再認識した。

申請時に5回を予定していた講座は、結果的に全7回となり、そのいずれもが高い評価・満足度を得たものであった。

今後も参加の感想のフィードバック、会員のニーズのヒアリングを基に、この時代、そして私達が抱える課題に即した学びを続けていくことが必要である。

### ■最終実施費用 92,144円

- 専門家派遣謝金 10,000円×5回+15,000円×1回=65,000円
- Zoom 契約料 20,100円×1.1=22,110円
- 料理教室食材費 5,034円 ※12月5日実施分

## 柱立て③：新規子ども食堂開設サポート事業



### ■目的

子ども食堂新規開設のハードルを下げ、開設実施者をサポートする

### ■内容

- ・開設マニュアルの作成・印刷・配布
- ・子ども食堂マイスター（運営経験者）による同行サポート（事前現場調査1回、初回子ども食堂開催日の同行サポート）
- ・各食堂に対するチラシ作成のサポート
- ・食堂スタート用調理器具の提供

※サポートを希望する熊本県内の新規子ども食堂開設場所において順次実施  
(年間10件程度を想定 ※申請時点)

### ■実施予算 340,000円

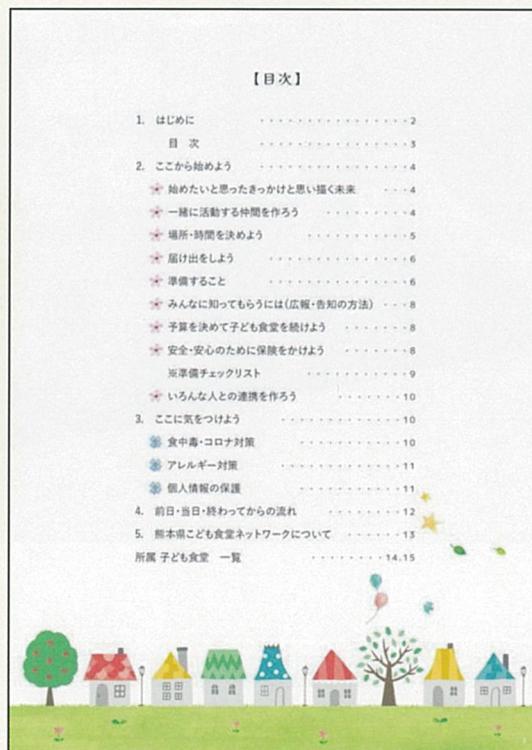
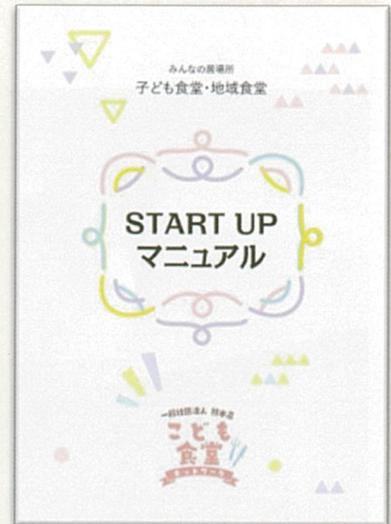
- ・開設マニュアル印刷費 A4,30ページ,カラー,50部 30,000円
- ・子ども食堂マイスター（運営経験者）謝金 10,000円×10回=100,000円
- ・子ども食堂マイスター（運営経験者）交通費 3,000円×10回×2回=60,000円
- ・A4チラシ作成デザイン費 5,000円×10回=50,000円
- ・調理器具購入 10,000円×10回=100,000円



# ■実施の様子

## 開設マニュアル制作

新規に子ども食堂の開設を目指す個人・団体に向けたマニュアルを制作・配布。準備物、メニュー、運営手順等の具体的なマニュアルだけに留まらず、開設に至る想いや仲間づくり、子ども食堂を通じて地域社会にどのように関わりたいのか、などマインドセットに関するページも十分に設け、運営に悩んだときに立ち返る指針となるような冊子を目指し編集。希望する個人・団体及び県内各地の行政機関、地域団体などに配布。



設立準備から今までにってきた開設・運営に関するエッセンスを盛り込み、分かりやすく、何度も見返して使える内容に編集。受け取った方々からは「子ども食堂を運営するための指針となつた」「コロナ禍で開催が中止されたり延期になつたりした際に、なぜこの活動をやりたかったのかを思い出し、立ち直るきっかけとなつた」などの感想が寄せられた。

今後も改訂・追加を行い、より新規開設者の助けとなれる冊子へとバージョンアップを図る予定である。

## 子ども食堂マイスターによるサポート



子ども食堂マイスター（運営経験者）による同行サポートを実施。開設前の事前現場調査として現地に赴き、会場の特性を踏まえた運営の注意点などの助言、アドバイスを行う。続いて、当該子ども食堂の初回開催日にも同行し運営のサポートを行った。





荒尾市「みやじま子ども食堂 ももカフェ」開設サポートの様子



熊本市東区「桜木東社会福祉協議会 陽だまり」プレオープン当日の様子





合志市「なかよし寺子屋クラブ」オープン時サポートの様子



熊本市南区「れん子ども食堂」オープン時サポートの様子





熊本市東区「シルバーピア東町 パティオ」開設サポートの様子



「おひさま食堂」開設サポートの様子



## チラシ作成のサポート



荒尾市「みやじまこども食堂 ももカフェ」開設時のチラシ



水俣市「オリーブの木」開設サポート（広報についての相談）時の資料作成

チラシを用いた不特定多数への周知・集客については未経験の事業者も多く、子ども食堂の新規開設・運営においては大きな課題となる。運営者の負担軽減の観点から、ネットワークにて使用した過去のチラシのフォーマットを提供し、チラシ作成が容易となるようなサポート、アドバイスを行った。



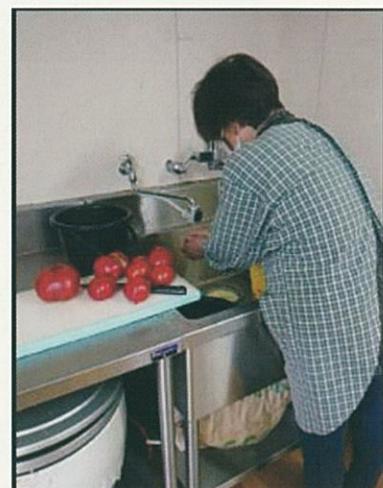
## スタート用調理器具の提供



宇土市「五色山食堂」プレオープン時サポートの様子

開設時に必要となる大鍋、炊飯器などの調理器具を提供。各子ども食堂の新規開設における負担軽減に寄与する。本助成により購入した調理器具に加え、企業より提供を受けた鍋などの提供も行った。





各子ども食堂での開設サポート時に進呈。子ども食堂運営の経験者の視点で選ばれたアイテムであるため現場で使いやすいと好評を得た。



大鍋、包丁セット、穴あきボウル

## ■総括

食材・物品等のハード面での資源はもちろん、当ネットワークが保有する子ども食堂運営の知識やノウハウ、データなどのソフト面での資源を活用し子ども食堂新規開設の経済的・心理的ハードルを下げるに寄与した。

本事業では 16 件の子ども食堂の新規開設をサポートし、うち 9 件が運営をスタートした。

サポートを受けた開設実施者からは

「経験者が現地を見ながら的確なアドバイスをしてくれてとても有難かった」

「チラシの雛型、参加者に記入していただく書類の書式など、印刷物を作るノウハウが全くなかったのでとても助かった」

などの感想が届き、非常に高い評価を得たと実感している。

今後も対象者からの希望のヒアリング、それに応じたサポートを継続し、目標である「1 つの校区に 1 つの子ども食堂を！」を達成すべく、県内の子ども食堂の更なる活性化を促したい。

## ■最終実施費用 499,497 円

- ・開設マニュアル制作・印刷費 A4,16 ページ,カラー,100 部 80,000 円
- ・子ども食堂マイスター（運営経験者）謝金 10,000 円×27 回=270,000 円
- ・子ども食堂マイスター（運営経験者）交通費 50,280 円
- ・調理器具購入 99,217 円 ※新規開設サポート時に進呈

# 柱立て4：事業の周知のためのホームページ作成と保守・更新



## ■目的

本事業の目的、実施状況、社会的効果等の周知をはじめ、来年度以降の安定した資金調達のための寄付受付ページを整備する役割も担う

## ■内容

ホームページ制作ならびに運用（下記①～⑦業務）を外部委託にて依頼

- ①デザイン ②コンテンツ決めのための会議参加、情報提供 ③ドメインの取得
- ④サーバの選定 ⑤代表メール設定 ⑥保守 ⑦更新・県内

## ■実施期間

2021年5月納品、運用（保守+更新）は2022年3月末まで

## ■実施予算 740,000円

- ・ホームページ制作費 500,000円  
※年間のサーバ利用料+ドメイン使用料を含む
- ・保守・更新費用 20,000円×12カ月= 240,000円



## ■実施の様子（各ページ外観）

The screenshot shows the homepage of the Kumamoto Children's Kitchen Network. At the top left is a phone icon followed by the number 070-1948-5212. On the right are social media links for Facebook and a 'お問い合わせ' (Contact Us) button. The header features the text '一般社団法人 熊本県こども食堂ネットワーク' and 'こども食堂 ネットワーク'. Below the header is a large photo of a young girl smiling while eating from a bowl. To her right is a red circular button with a book icon and the text '最新のNewsは こちらから' (Latest News from here). The main body of the page includes a circular photo of children at a table, a section titled '多くの笑顔を共に創る' (Creating many smiles together), and a map of Kumamoto Prefecture with red location pins. The bottom section is titled 'あなたのまちのこども食堂' (Your town's children's kitchen) and provides information about the network's reach.

070-1948-5212

Facebook お問い合わせ

一般社団法人 熊本県  
こども食堂 ネットワーク

最新のNewsは  
こちらから

多くの笑顔を共に創る

あなたのまちのこども食堂

現在、熊本県内には100箇所のこども食堂があります（R3年1月熊本県発表分88箇所、その後、R3年7月末までで12の子ども食堂が新規にスタート）。そのうち（R3年9月現在）40カ所のこども食堂がこのネットワークに参加しています。皆様のむほいの地域にこども食堂がおとかかわるまほん

トップページ <https://kumamoto-ks.com/>



## 熊本県こども食堂ネットワークの正会員になりませんか？



熊本県内で子ども食堂を運営している方であれば、誰でも正会員になることができます。食堂を継続して運営していく上でぶつかる、食材集めや資金の悩み、協力者集めやボランティアとの関係づくり、多様な悩みに寄り添ってサポートしてまいります。正会員になると、次のようなサポートを受けることができます。



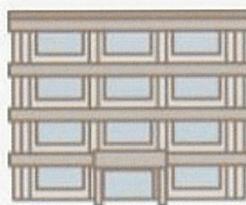
### サポート① 会員向け食材・消耗品・支援品や情報のシェア

- 食材・消耗品提供情報、助成金・研修情報などをメールやLINEでシェア
- 企業様・農家様・個人様からの食材提供品のフードシェア
- R3年度の助成内容：ママトコミートバテ合計600kg提供と、保険費用の助成（年度内に1万円助成）



### サポート② 会員同士の交流・研修・情報交換の場の提供

- 会員定例会で会員同士が交流し、悩みやノウハウ・事例を共有します。また、定例会で講師を招いての研修も行います。食堂運営者を孤立化させません。
- 大量調理の調理方法、栄養バランスの良いメニューの考え方などが学べる料理教室を行います



### サポート③ 会員の声を行政に届ける

- 会員子ども食堂の開催状況や困り事について調査し、行政に届けます。

会員募集ページ

<https://kumamoto-ks.com/information/#seikaiin>



## こども食堂のお手伝いをしたい方、開設したい方へ

熊本県におけるこども食堂の多くは、子どもたちが集う場であり、子どもから高齢者までの多世代が交流する場であり、親子でくつろぐ場であり、また、困りごとがあるときは行政や専門機関につなぐことができる、そんな様々な形態、様々な機能を持っているみんなの居場所になっています。

私たちこども食堂ネットワークは、子どもたちや高齢者が歩いていくことができる距離にみんなの居場所、皆の集う場所ができるのを願っています。

食堂を開催できる場所はあるが何から始めたらいいかわからない  
やりたい仲間は集まつたけれど、どうしていいかわからない  
すぐにでも始められる状況だが、継続していくのが不安  
時間もあり、社会と関わる方が自分にもできるだろうか  
お手伝いに行きたいが、どの食堂に声を掛けていいのかわからない

など…あと一歩、踏み出すことができない不安をお持ちの方、お悩みの方のお手伝いをしています(新規開設サポート事業、マッチング事業)。

実際にこども食堂を運営しており、現場のことを理解している子ども食堂ネットワークのアドバイザーが、定期的な「子ども食堂新規開設説明会」や、現地に赴いての個別の説明などにてお話を伺います。

どうぞ、お問合せに記載のメールかお電話でお気軽にご相談ください。



想いがあれば、誰でも始められます



### Menu

- [HOME >](#)
- [団体概要 >](#)
- [最新のnews >](#)
- [事業案内 >](#)
- [助成金事業 >](#)
- [所属こども食堂 >](#)
- [応援したい方へ >](#)
- [お問合せ >](#)

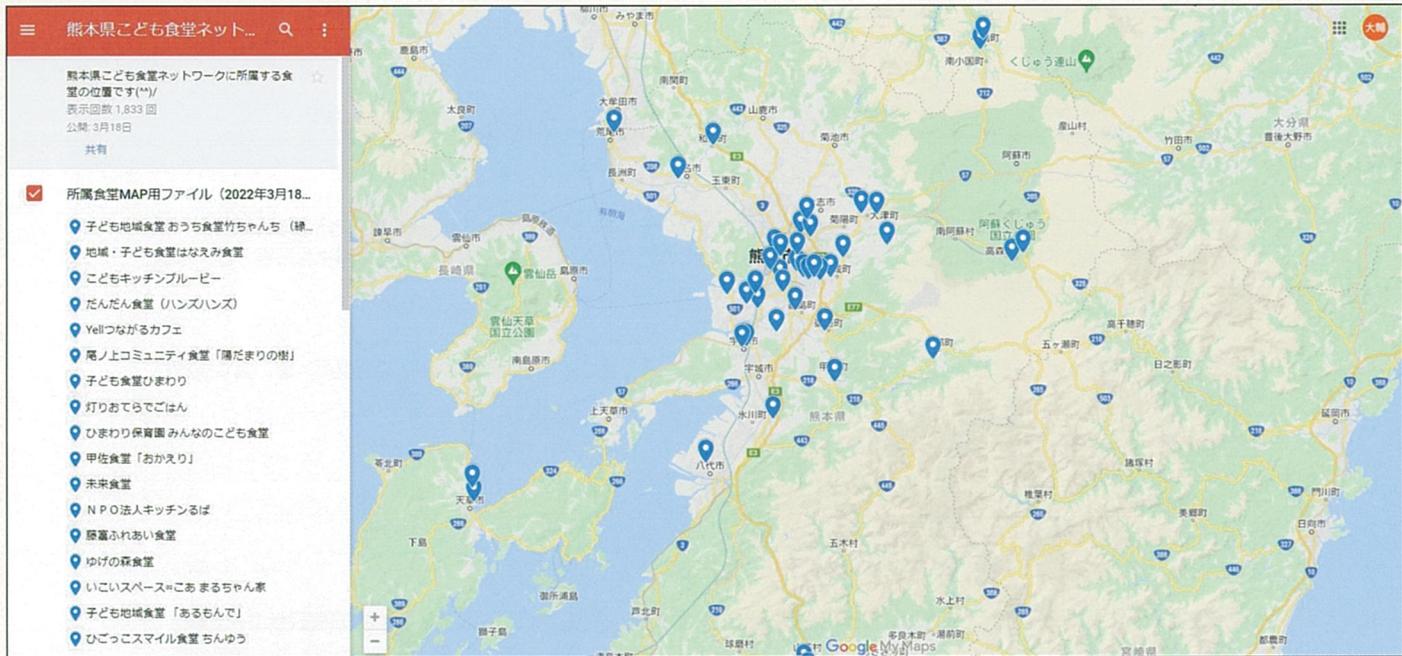
### 一般社団法人 熊本県こども食堂ネットワーク

【お問い合わせ】  
熊本県熊本市東区桜木2丁目16-31  
«電話番号» 070-1948-5212  
«FAX» 096-360-7003  
«メールアドレス» kumamoto-ks.net@gmail.com



開設サポート・ボランティア募集ページ  
<https://kumamoto-ks.com/fai-top/>





加盟子ども食堂マップ表示 <https://kumamoto-ks.com/belongs-top/>



### 個人寄付情報入力フォーム

この度は、一般社団法人熊本県こども食舎ネットワークの活動にご寄付のお申し出をありがとうございます。

口座にご寄付を入金する前に、大変お手数ですが、こちらのフォームへの入力をお願いいたします。

いただいた情報は、活動報告書送付や、当法人主催のイベントなどのご案内のためのみに使用させていただきます。

事務局の方で口座へのご寄付のご入金が確認できましたら、こちらからご連絡を差し上げます。

今後とも、どうぞよろしくお頼い申し上げます。

matsudadaisukeusagidan@gmail.com (共有なし)  
アカウントを切り替える

寄付者のお名前  
 回答を入力

連絡先電話番号  
 回答を入力

メールアドレス  
 回答を入力



### 法人寄付情報入力フォーム

この度は、一般社団法人熊本県こども食舎ネットワークの活動にご寄付のお申し出をありがとうございます。

口座にご寄付を入金する前に、大変お手数ですが、こちらのフォームへの入力をお願いいたします。

いただいた情報は、活動報告書送付や、当法人主催のイベントなどのご案内のためのみに使用させていただきます。

事務局の方で口座へのご寄付のご入金が確認できましたら、こちらからご連絡を差し上げます。

今後とも、どうぞよろしくお頼い申し上げます。

matsudadaisukeusagidan@gmail.com (共有なし)  
アカウントを切り替える

法人名  
 回答を入力

法人代表者の役職名  
 回答を入力

法人代表者の氏名  
 回答を入力

寄付担当者の部署名

寄付受付フォーム（個人） [https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdAaMsScPt1FwR4JVogK98lGracAjCpp\\_gKUqlalluujOQOuw/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdAaMsScPt1FwR4JVogK98lGracAjCpp_gKUqlalluujOQOuw/viewform)  
 寄付受付フォーム（法人） <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdIUZV-chDiq4exa6Xl8UtLOtDATb4I7WREXN-TuLFihwc8Mw/viewform>



## ■総括

本助成を活用し 2021 年 5 月より運用をスタートした新ホームページは、以前より利用者から、会員からともに希望の多かった

- ・加盟食堂マップ表示
- ・食堂開設に向けたサポートの窓口

等の新機能も備え、非常に充実した内容となった。

県内の利用者への認知、アクセス数の増加も良好で、2022 年 3 月時点で平均 80,000PV／月程度のページビュー数をカウントする。

運営安定化を狙い、本助成事業の目的のひとつでもあった寄付受付の窓口（専用フォーム）からの申込も増加し、今後の運営安定化にも寄与するものと予想される。

助成期間の終了後も、ホームページの保守・更新は同外部委託業者に依頼を継続している。ユーザーからの評価等のフィードバックを行い、より利便性の高いサイトへとブラッシュアップを継続していく。

### ■最終実施費用 806,440 円

- ・ホームページ制作費 687,500 円  
※サーバ利用料＋ドメイン使用料を含む
- ・保守・更新費用 9 月まで 80,000 円  
10 月以降 38,940 円

# 柱立て5：「外部専門家による事業モニタリング」



## ■目的

本事業全体の進捗状況や、成果、反響、要望などの情報を組織内で共有し、客観的な視点を元に、適宜改善を行うことが必要と考える。その達成のため、外部専門家を招聘し、運用会議の進行役として支援を受ける

## ■内容

- ・認定 NPO 法人アカツキ による事業モニタリング
- ・オンライン（10回）とリアル（2回）での運用評価会議の進行

## ■実施期間

2021年5月から2022年3月末まで 計12回

## ■実施予算 193,552円

- ・事業モニタリング一式 193,552円



## ■実施の様子・総括



認定 NPO 法人アカツキの代表 雪松氏、白神氏を講師に迎え、本助成事業の評価、確認、ならびに組織基盤づくり等多岐に渡る視点での研修を実施した。

講師・進行役を担う認定 NPO 法人アカツキのモニタリング手法は「アドバイスを与える」のではなく、「みんなと一緒に考える」「ともに歩む仲間と対話する」時間を設けることを重視するスタイルであった。

ブレインストーミング、ワークショップ形式など様々な手法を用い、参加者の中にある課題、悩み、葛藤、そして答えに気づくきっかけの提案が行われた。

一年間の本事業に関して、毎月、半年、一年と節目ごとに行われる振り返りは、今までの成果とこれからの課題を正しく見つめ直す機会となる。本事業の主旨・意義に何度も立ち返り、それを達成する手段の模索を続けたことで、軸がブレることなく事業を進行できたと感じる。

今後の組織運営、事業の発展についても、当ネットワーク理事 3 名を交えしっかりと考る時間を設けることができ、非常に有意義な学びと発見の機会となった。

### ■最終実施費用

- ・事業モニタリング一式 193,552 円

# 柱立て6：「報告書作成」

## ■目的

地域の居場所づくりの必要性を県の行政担当課・企業・団体・個人に広く伝える

## ■内容（仕様）

- ・A4 36頁 デザイン制作・文字校正
- ・A4 両面4色 マットコート90kg 印刷

## ■実施期間

2022年4月発行

## ■実施予算 180,000円

- ・A4 36頁 デザイン制作・文字校正
- ・A4 両面4色 マットコート90kg 印刷

## ■総括（本書について補足）

本報告書は通常の助成事業報告書としての属性を持ちながらも、県下の関係者、今後子ども食堂の開設を希望するすべての人々に対し、助成を受けて行う事業の「有効性」、そして「活用法」を広く一般に伝えることを第一の目的とした。

そのため、文章や詳細データは極力少なくし、事業実施の写真やそれに伴う参加者の心の動き、社会的な効果などを伝えることを目標に、だれでも気軽に読める簡素なものを意識した。

本書を手に取った人が、様々な地域、様々な分野で「助成を活用してみよう」「一歩を踏み出してみよう」と感じてもらえたなら幸いである。

## ■最終実施費用 180,000円

- ・A4 36頁 デザイン制作・文字校正
- ・A4 両面4色 マットコート90kg

※本書完成後、熊本県内の行政機関、地域団体、子ども食堂、ならびに本事業に協力いただいた企業・団体・個人に配布・郵送予定



# 令和3年度WAM助成事業 フードバンクシステムによる 熊本県内子ども食堂の総合サポート

## 事業全体の振り返り

### ■ひとつの校区にひとつの子ども食堂を

当法人は設立当初からの目的のひとつに「県内すべての小学校区にひとつの子どもを作る」ことを掲げている。本助成事業の実施は、その目標の達成に関して非常に大きな足掛かりとなった。

子ども食堂を新しく開設するにあたって運営者が直面するハードルは主に

- ・費用面での負担
- ・開設時のノウハウ
- ・継続的な運営体制

の3つが挙げられるが、本助成事業の効果はこの3つの問題を解決する有効な手段になり得ると考えられる。

#### >費用面での負担については

柱立て1「フードバンクシステム構築」による食材の安定供給はもちろんながら、柱立て3「新規開設サポート」での調理器具提供や書類など各種テンプレートの提供もコスト削減につながるものである。

柱立て2のセミナーで取り扱った「Amazonほしいものリストの活用」のノウハウも会員の各食堂に共有することで、より安定・充実した運営の支えになると確信する。

#### >開設時のノウハウについては

柱立て3の「新規開設サポート」において、各新規開設子ども食堂に対して充実したサポートを行うことができた。

また、本事業にて多数のサポート経験を積んだことで、より効果的な開設サポートの形が見出され、新規開設する運営者、利用者双方が望むものを提供できるようになったことも大きな成果である。

#### >継続的な運営体制については

柱立て2の「地域の居場所づくりセミナー」にて運営者のマインドセットを行った。もちろん、同様の知識・情報収集、運営マインドの強化研鑽は本事業だけで終わるのではなく、子ども食堂を運



営していく限り、ずっと続けていくべきものである。本事業において目指したのは、「常に新たな情報を求めるここと」や、「自分の専門外の知識から得る気づき」が、子ども食堂を運営していく上でも重要であるということの啓発であった。

また、柱立て3の「新規開設サポート」で作成したマニュアル（冊子）も、運営に悩んだとき、活動の軸がぶれそうになったときの支えになれば幸いである。

これらの成果を支えるのが、柱立て4の「ホームページ作成・運用」や、柱立て6の報告書（本書）である。特にホームページ及びSNSでの周知効果は非常に高く、県内での認知度は格段に向上した。

「子ども食堂を作りたい！」と新たに考えた人々に、どのようにスタートすれば良いのか、どのようなサポートが受けられるか、がしっかりと伝わることで、今後、熊本県内の子ども食堂の数はより加速度的に増加していくものと確信する。

また、柱立て5の「外部モニタリング」により、年間を通して軸のブレない事業を行えたことを光栄に感じる。

## ■今後の展開と目標

全体を通して課題となったのは運営キャパシティであった。事業の中心となるフードバンクシステムを運営においては、人的、または空間的リソース不足により、すべての食材提供を受けて再配布することは不可能だった。

これはHP・SNSにより発信した情報が、実質的な運営可能な規模を越えて拡散され、多くの方々から支援が集まった結果だと言える。この結果からは「子ども食堂を支援したい！」という社会の気運の高まりと、「フードロス問題に取り組みたい！」という企業・団体の意思も伺える。

現在でも情報の拡散は継続され、HPのPV数の推移からも本事業および当ネットワークの認知度はより高まっている。今後も各企業や団体、個人から多くの支援が寄せられると予想されるが、その期待に十分に応えるためにも、支援の受け入れ体制、情報発信および再、配布のシステムをプラスアップしていくことが急がれる。

同時に、ホームページ等のWEB媒体はもちろん、本書を通じて、本事業での取り組みと成果を、広く県内外に発信していくことで、物的・金銭的な支援のみならず、より多くの人的支援、共に事業を進めていける協力者を獲得することも重要である。

最後に、本事業に関わった全ての方々の厚意と献身に心から感謝を！

そして、本書を目に「子ども食堂を開きたい！」「この事業に関わってみたい」と感じた方がいれば、ぜひご連絡をお待ちしています！



一般社団法人熊本県こども食堂ネットワーク

代表理事 島田 万里

熊本県熊本市東区桜木2丁目16-31

TEL 070-1948-5212 mail : kumamoto.ks.net@gmail.com



